

# 災害に備える

# 新しい社会のカタチ

複合的な災害への  
備えと対策を考える  
オンラインシンポジウム



2021年

11月20日 土

14:00-16:30

会場 オンライン開催  
(zoom ウェビナー)

参加無料 ※事前申込が必要です

PC、スマホ、タブレットで視聴可能！  
どなたでもご参加いただけます。



お申し込みは必要項目を入力するだけ！

(登録頂いたメールアドレスに視聴アドレスなどをお送りします)

【お問い合わせ】大分大学 研究推進課

TEL: 097-586-5409 E-Mail: glocal@oita-u.ac.jp



主催：国立大学法人 大分大学  
共催：一般社団法人 国立大学協会、大分県

フェスタ  
国立大学2021



## [オンラインシンポジウム] 感染症、自然災害などの多様な脅威にどう備えるか？

大学改革を通じた地方自治体との協働体制の構築に向けて

新型コロナウイルス感染症の世界的流行拡大や、豪雨災害、さらには今後発生が想定される南海トラフ地震等、大分県は感染症や自然災害の脅威に直面しています。

大分大学は2018年1月に「減災・復興デザイン教育研究センター（CERD）」を新設し、2021年10月には「グローバル感染症研究センター」を設置しました。

このシンポジウムでは大分大学のこれまでの活動と、感染症など複合的に考える必要のある問題をこれからも地域と協働し、どのように地域貢献を行っていくのかを議論します。

### プログラム

14:00 **1 開会挨拶**（大分大学 学長 北野正剛）

14:05 **2 基調講演**

1. 「県内における新型コロナウイルス対策 これまでとこれから」  
（大分県福祉保健部 理事兼審議監 藤内修二）
2. 「日常と非常時のフェーズフリー」  
（大分県生活環境部防災局長 梶原文男）

14:55 **3 事例紹介**

1. 「グローバル感染症研究センターの目指すもの」  
（大分大学 グローバル感染症研究センター長 西園晃）
2. 「減災社会に向けた減災・復興デザイン教育研究センターの取り組み」  
（大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター 次長 鶴成悦久）
3. 「動物に由来するハザード - 外来種の脅威 -」  
（大分大学 研究マネジメント機構 助教 奥山みなみ）

15:35 **4 パネルディスカッション**

「感染症、自然災害などの多様な脅威にどう備えるか」

ファシリテーター

西園晃（大分大学 グローバル感染症研究センター長）

パネリスト

藤内修二（大分県福祉保健部 理事兼審議監）

梶原文男（大分県生活環境部防災局長）

鶴成悦久（大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター次長）

坂本照夫（大分大学 医学部附属病院高度救命救急センター長）

16:25 **5 閉会挨拶**（大分大学 理事・副学長 山岡吉生）